

令和5年度 豊田市立石畳小学校の教育

校訓「創造」

1 教育目標

郷土を大切に作る心を持ち、心身ともに健やかで「気づき、考え、実行する」子どもの育成をめざす。

2 めざす子ども像

- 思いやりのある子・・・人に優しく接し、温かい豊かな心をもつ
- 明るく元気な子・・・明朗で健康に気をつけ、外で元気に遊ぶ
- 主体的に学ぶ子・・・進んで学び、深く考えて行動する
- 進んで働く子・・・勤労意欲を持ち、自分の役割を着実にこなす
- ねばり強い子・・・困難にもくじけず、一つのことをやり遂げる

3 経営方針

- (1) あいさつを励行し、自ら進んであいさつができる子どもを育てる。
- (2) 一人一人のよさと違いを認める心の教育に努め、**思いやりの心をもつ人間性豊かな子ども**を育てる。
- (3) 自ら学び、深く考え、主体的に行動する子ども(**自分の考えを伝える**)を育てる。
- (4) 心や身体を鍛え、明るく元気にたくましく生きる子どもを育てる。
- (5) 地域の自然・文化・人を生かし、家庭や地域と連携して開かれた学校づくりを進める。

4 重点努力目標 ※太字は今年度の重点取組

1	進んであいさつができる温かい人間性の育成	・「いつでも・どこでも・だれとでも」あいさつができる コミュニケーション能力を高める 。 ・あいさつの大切さを理解させ、 心のこもったあいさつ を交わせるようにする。
2	一人一人の人権を尊重する望ましい社会性の育成	・道徳の授業や体験活動の充実を図る。 命の大切さ、他人への思いやり、善悪の判断等 ができる子を育てる。 ・学級活動、縦割り活動等を通して豊かな人間関係を築き、他と共に協調する態度を養うと共に、自ら「気づき、考え、実行する」子どもを育てる。
3	自ら学ぶ力の育成	・テーマやねらいを明確にして、学びを積み重ねる(振り返りを大切に)。 ・子どもの能力や特性に応じた 専門的できめ細かな指導や支援を工夫し、確かな学力(根拠や理由を持ち、自分の考えを人に伝える力) の定着を図る。 ・体験活動を生かした「 わかる授業・楽しい授業 」を実践し、進んで学ぶ意欲を高めるとともに、感性を磨き育む。
4	健康・安全に関する意識の向上	・たった一つの 命を大切に し、自分の健康・安全は自分で守る子どもを育てる。 ・校内安全や登下校の安全対策を図るとともに、 子ども自身の安全意識を高める 。(居場所の導入) ・食に関する指導の充実を図り、豊かな心とたくましい身体をもつ子どもを育てる。
5	家庭・地域とともに歩む学校づくり	・ 地域の豊かな自然・文化・人材を積極的に取り入れ、体験や人との触れ合いを通して、故郷を愛する心を育てる。(石っ子学習の充実) ・保護者や地域の意見・外部評価を真摯に受け止め、連携を深めて学校教育に生かす。地域学校共働本部の支援を受け、学校教育の活性化を図る。 ・ホームページや各種のたよりを通して情報提供に努め、家庭や地域との連携を図る。